

# 自己免疫性胃炎ならびに慢性胃炎で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

2023年05月22日

① 対象者	2000年1月～2023年1月に空腹時採血を行い、当院消化器内科で自己免疫性胃炎ならびに慢性胃炎と診断された18歳以上の患者さん。			
② 研究課題名	自己免疫性胃炎診断に資する抗壁細胞抗体測定系の開発（多施設共同研究）			
③ 実施予定期間	2023年5月～2024年12月			
④ 実施機関	広島大学病院 総合内科・総合診療科			
⑤ 研究代表者	氏名	伊藤 公訓	所属	広島大学病院 総合内科・総合診療科
⑥ 当院の研究代表者	氏名	丸山 保彦	所属	藤枝市立総合病院 消化器内科
⑦ 使用する検体・データ	電子カルテ情報・保存血清			
⑧ 目的	自己免疫性胃炎は、本邦で増加しつつある疾患ですが、その診断基準は定められていません。現在、日本消化器内視鏡学会附置研究会が設立され、具体的な基準設定への取り組みが始まりつつあります。その診断には自己胃抗体の一つである、抗壁細胞抗体の存在の有無が最も重要とされています。しかしながら、現在、抗壁細胞抗体の測定にはラット胃を用いた蛍光抗体法が用いられており、手技が煩雑であるだけでなく、測定感度とカットオフ値にも問題があり、確立された診断法とはいえません。そこで、自己免疫性胃炎の臨床診断に利用可能な新たな抗壁細胞抗体測定系を確立することを目的としています。			
⑨ 方法	<p>本研究は、患者さんの保存血清、並びに診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・患者背景：年齢、性別、使用薬剤など</li><li>・血液検査の結果（血清ガストリン値、抗胃壁細胞抗体、抗内因子抗体、ペプシノーゲン1、2、1/2、比、RBC、Hb、Ht、MCV、白血球数、血小板数、ビタミンB12、葉酸、各種自己抗体など、結果の判明している本疾患に関連する検査項目）、内視鏡像（胃炎の状態を評価する各種指標 併発疾患）、生検の結果（ある場合のみ）、保存血清の解析（抗壁細胞抗体価）</li></ul> <p>保存血清、カルテ情報から氏名や住所等の個人が特定できる情報を削除し、誰のものか分からないよう加工した上で、各施設から共同研究機関である富士フィルム株式会社に送付し、解析されます。</p>			
⑩ 倫理審査	一括審査承認日（広島大学）	2023年5月17日		
	病院長承認日	2023年5月17日		
⑪ 公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬ 知的財産権	本研究により生じる特許、その他知的財産に関する権利（特許権）は、研究者に属します。			
⑭ 利益相反	本研究は、企業からの資金提供はありません。			
⑮ 問い合わせ	連絡先	消化器内科外来	電話	054-646-1111（以後番号案内あり）
	上記連絡先にてお問い合わせ内容をお伺いいたします。後日、研究者より直接回答いたします。 ※情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、恐れ入りますが2023年12月31日までにご連絡をお願いします。			